

良斜殺者名殺シキ白芷次之、細長而似吸口者名吸手、爲下品吸口者、吹烟、草器之名也。

〔物類品鑑芳〕白芷 和名ヨロヒグサ、又ウマゼリト云、和産所在ニアリ、漢種上品、享保中種子ヲ傳テ、今官園ニ多アリ、形狀和産ニ同シテ香氣ツヨシ、八月實ヲ蒔、翌年秋掘取ベシ、一年ニテハ根小ニシテ用ルニ堪ズ、春植テ二年ニ至レバ、花ヲ開テ根堅、季秋ニ至テ悉ク朽ナリ、故ニ八月ニ植テ翌年掘取ヲ佳トス、

〔重修本草綱目啓蒙九〕白芷 ヨロヒグサ延喜式 サイキ信州 ムマゼリ勢州 ヤマウド作州

カンラ勢州 今ハ通名 一名神薑王氏 三閭小玉輟耕錄 蘭槐荀子 澤芳輿覽 杜若名物

芳草事 仇里竹根本草 仇里大根方家 增、一名都梁香本經

舶來ノ白芷二種アリ、一種車切ト稱スルハ、根ノ大ナルヲ輪切ニシタル者ニテ、是古渡ナリ、今ハナシ、又一種吸口様ト稱スルハ、根細シテ烟管ノ吸口ノ如シ、是上品ナリ、今渡ルモノ皆此ノミ、漢種ハ享保年中ニ渡ルト云ヘリ、苗ハ和産ニ同シテ根ニ香氣多シ、和産ハ山城及ビ大和ニ多ク栽ユ、葉ハ大葉ノ川芎ニ似テ、一寸許ノ葉枝ヲ分テ多ク著キテ、二三尺ノ大サニナル、皆周邊ニ鋸齒アリ、大葉ノ川芎ヨリ濶クシテ、背ニ粟紋アリ、苗高サ七八尺、葉互生ス、花ハ小ク白シテ胡蘿蔔ノ如ク繖ヲナス、又大葉川芎ノ花實ニモ似タリ、凡ソ秋日下種スレバ三年ニシテ花實アリ、根堅硬ニシテ用ルニタヘズ、冬ニ至リテ苗根枯腐ス、故ニ八月ニ種ヲ下シ、翌年ノ秋根ヲ采ルベシ、城州富野ニテ作ルハ、肥地ニ種ヘ、根大ナル故香氣薄シ、和州宇陀ニテハ瘠地ニ種ヘ、糞力ヲ借ラズ、故ニ香氣アリ、奥州南部ノ自然生最良ナリ、根細クシテ香氣多シ、舶來ノ白芷ニ石灰ノツキタルアリ、コレハ白芷蛙ミ易ク、並ニ色白カラコトヲ欲シテナリト時珍モ云ヘリ、

〔農業全書十〕白芷

白芷は唐のを用ゆるがよけれども、山城にては倭を作りて、是も藥屋に賣て、利ありと云なり、肥